

# センターだより

岡山県聴覚障害者センター広報紙



**VOL. 75**  
2024年・春号

表紙写真：災害救援専門ボランティア研修会で避難所運営ゲーム HUG を体験

今号のトピック

## 新年度に向けて

■ 所長 西條保幸

春が来ました。春の日差しの中梅の花が満開です。桜の開花も間近になり、令和6年度が目前に迫って来ました。

今年は10月18日～20日に全国ろうあ女性集会在倉敷市で開催されます。また、来年11月には東京デフリンピックがあり、機運を盛り上げる1年です。直接にセンターの業務ではありませんが、いろいろな場面で協力していければと思っています。

新年度を迎えるにあたり、気懸かりな点を思いつくままあげてみました。まず手話通訳者と要約筆記者の養成です。ここ数年は養成講座の受講生が減少しており、その影響もあり統一試験の合格者数が低迷しています。手話通訳者養成講座は市町村が実施している奉仕員養成の延長に当たるために、市町村との連携は不可欠です。やる気のある奉仕員の人に引き続き養成講座を受講していただくよう働きかけていく必要があります。要約筆記は意欲のある人なら誰でも受講出来ます。半年間みっちり要約技術と障害者福祉・聴覚に関する知識を学び、統一試験に挑戦していただきます。多くの方に来ていただくよう積極果敢にPRしていきたいと思ひます。通訳者養成は喫緊の課題です。

次にICTの活用が思い浮かびます。電話リレー、遠隔手話、ネット119など普及に力を入れてきました。少しずつ進歩しているとはいえ、まだまだです。しかし、この分野には明るい話題もあります。電話リレーですが、中途失聴者から要望があった文字表示電話が来年1月を目途に実現しそうです。自らの音声で用件を伝えれば、相手の応答が文字で返って

きます。もう一つは、電話リレーの遠隔通訳としての利用です。運用規程で禁止されている遠隔通訳利用を、新年早々に震災に襲われた能登半島の方々に限り認めています。被災地での聴覚障害者のコミュニケーションを確保するための特別措置ですが、将来の電話リレーの遠隔通訳併用に道を拓ききっかけになるかも知れません。

次いで県北対策です。センターが岡山市にあることから、センター利用者の約8割は岡山市・倉敷市の住人です。以前から指摘されている南北問題です。今後は、手話通訳者養成講座の県北会場開催、自立支援行事や電話リレー利用登録会の県北開催、YouTubeの活用など、少しでも解消に向けてできることをやっていければと思います。

また、改正差別解消法の施行に伴い派遣増加が予想されます。通訳者派遣がスムーズに出来るよう、コーディネート能力を高めていく必要があります。センター担当者が悲鳴をあげないよう事務の合理化を進めていかななくてはなりません。

その他いろいろ・・・・・・・・・・

最後に、(公社)岡山県聴覚障害者福祉協会は、令和6年4月から令和11年3月まで、引き続き、聴覚障害者センターの指定管理者に選定されました。センター職員一同、これまで以上にしっかりとセンターを運営していきたいと思ひます。役に立つなあ、頼りがいがあるなあ、と思ひたいだけよう頑張っていきたいと思います。皆様のご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。



# 研修会のご報告

## 1. 避難所運営ゲーム HUG (ハグ) を体験 災害救援専門ボランティア研修会

1月7日(日)きらめきプラザ 401 会議室で災害救援専門ボランティア研修会を開催し48人の参加がありました。今回は、避難所で起こる様々な出来事をどう対応していくかゲーム感覚で疑似体験するHUGを行いました。講師の重實(しげざね)剛氏は、県災害派遣福祉チーム「岡山 DWAT」の一員で、被災地支援の経験があることから、ゲームの説明だけでなく、支援活動の体験談を交えながらわかりやすく進行されました。今回、能登半島地震発生から1週間での開催とあって、被災地のニュース映

像を頭に浮かべながら演習に臨んだ人も多かったと思います。HUGを通じて避難所の不便さや運営側の大変さをより強く実感する演習となりました。

その後、遠隔通訳の実施訓練をしました。実施訓練の回数を重ねることで、遠隔通訳の機器の操作や通訳を始める前のやりとり慣れに感じられました。



## 2. 要約筆記との向き合い方 要約筆記者現任研修会(地域ボランティア研修事業)

2月3日(土)きらめきプラザ 401 会議室で要約筆記者現任研修会を開催し、60人の参加がありました。全国要約筆記問題研究会の前理事長で、現在は認定講師の三宅初穂氏を講師にむかえ「要約筆記との向き合い方～話しことばの要約から～」というテーマで講演いただき



ました。要約筆記者は、話し手の意図を正しくとらえるため、客観的妥当性を持った聞き方を目指すべきとお話がありました。また、養成テキストで学んだ日本語や話し言葉の基礎知識のポイントをおさえながら要約筆記の技術を改めて考えました。

要約筆記者としての意識と技術の両面から、日頃の活動を振り返る良い機会となり、講演後に行ったグループ討議では活発な意見が交わされました。

## 3. 瞬時に判断し対応するために 手話通訳者現任研修会(地域ボランティア研修事業)

2月25日(日)研修室・会議室で、手話通訳者現任研修会を開催し、78人の参加がありました。

午前は、日一英一日本手話通訳者の高木真知子氏にデマンド・コントロール・スキーマについてオンラインで講演いただきました。日々の通訳現場での判断と対応には迷いがつきものです。そんな時にこのデマンド・コントロール・スキーマが助けになります。これを活用できれば対応の幅が広がり、よりよい通訳活動につながるのではないかと思います。

午後は事例検討を行いました。通訳者によって気づくポイントや対応が違うということはそれだけさまざまな判断があるということです。午前の講義と合わせて次の通訳現場での判断に活かせる研修会でした。



## 4. “観察眼”を持ち評価する大切さ 手話通訳士養成研修事業 指導者研修会

3月24日(日)301 会議室で、手話通訳士養成の講師を対象とした研修会を開催し、14人の参加がありました。国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官の江原こう平氏にお越し

いただき「手話通訳士に求められる表現技術について」の研修をしました。今回の研修のポイントは『「観察眼」をもち、伝わるように「評価ポイント」を説明できるように

なる』でした。毎年手話通訳士養成研修を実施するにあたり、県聴障協と県手話通訳士協会が講師団を立ち上げ講師を担当いただいています。実際に士試験を目指している方たちに表現してもらい、ろうと健聴講師がペアになり評価をし、その評価の仕方はどうだったかなど意見を出し合いました。たくさんの気づきがあり、来年度の士養成研修に活かされることを願っています。



## 受講生募集!

- ・申し込み方法など詳しい募集要項は事務室で配付しています。ホームページからもダウンロードできます。ご不明な点がございましたら岡山県聴覚障害者センターへお問い合わせください。
- ・いずれの講座も教材費として2,000円のほか、別途テキスト代が必要です。

厚生労働省の手話通訳者養成カリキュラム変更に伴い、岡山県聴覚障害者センターの養成カリキュラムを変更しています。このため、①実践課程が廃止されました。令和6年度に限り、経過措置として実践課程を実施します。②応用課程修了者が統一試験の受験対象となったため、基本・応用課程の開催時期を変更しています。

	講座名	会場	期間・回数	申込締切	備考
手話通訳者養成講座	基本課程 (手話通訳Ⅰ) ●岡山会場	県聴覚障害者センター	9月7日 ～3月1日 毎週土曜 10～12時(10～16時の回が数回あります) 計21回	8/23(金) 必着	受講試験 8/31(土) 10:00～
	基本課程 (手話通訳Ⅰ) ●赤磐会場	赤磐市立西山公民館	6月14日 ～12月20日 毎週金曜 概ね19～21時 計28回	5/31(金) 必着	受講試験 6/7(金) 19:30～
	応用課程 (手話通訳Ⅱ) ●岡山会場	県聴覚障害者センター	5月18日 ～11月2日 毎週土曜 10～12時(10～16時の回が数回あります) 計24回	5/2(木) 必着	受講試験 5/11(土) 19:30～
	応用課程 (手話通訳Ⅱ) ●高梁・新見会場	高梁:高梁市役所 新見:ほほえみ広場にいみ	5月11日 ～12月1日 土曜 17～19時または 日曜 13:30～15:30 計30回	4/19(金) 必着	受講試験 4/27(土) 17:30～
	実践課程 (手話通訳Ⅲ)	県聴覚障害者センター	9月15日 ～10月27日 土曜または日曜 計6回	8/30(金) 必着	受講試験 9/8(日) 10:00～
要約筆記者養成講座	県聴覚障害者センター	6月2日 ～12月15日 毎回日曜 計18回 12:45～16:45(12回) 10:00～16:45(6回)	5/24(金) 必着	実技は手書きかパソコンのいずれか選択	

## 手話通訳者養成講座が終了しました

応用課程・倉敷会場が1月10日に終了し11人が修了。基本課程・高梁新見会場が1月13日に終了し9人が修了。応用課程・岡山会場が3月16日に終了し8人が修了しました。

## 合格発表がありました

### ●手話通訳者

昨年12月2日に実施した手話通訳者認定登録試験(手話通訳者全国統一試験)の結果発表

があり、3名が合格しました。

### ●要約筆記者

2月18日に実施した要約筆記者登録試験(全国統一要約筆記者認定試験)の結果発表があり、合格者はありませんでした。

### ●手話通訳士

昨年9月に実施された厚生労働大臣公認手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の結果が1月に発表され、1名が合格しました。

退任  
ご挨拶

## 大岡政恵さん(専任手話通訳者)が3月に退職しました

今年の3月をもって退職いたします大岡です。センター設立から、18年7か月お仕事をさせていただきました。思い起こせば開所当初は、不安しかありませんでした。初代所長を中心に、県からの指定管理業務を、粛々と着実に進めていくことだけを胸に、通訳はもちろんですが、苦手なパソコン入力・講座や研修会の企画など、必死で毎日进行していたように思います。派遣で行くことが少なくなり、正直「こんな仕事をするために手話通訳の資格を取ったんじゃない!」なんて思うこともありましたが、少しずつ、「私がここに居る意味」を見いだしていけたように思います。そう思わせていただけたのは、職員をはじめ、仕事に関わった方たちのおかげと、今は感謝しかありません。時に、自分自身とても辛い時期がありましたが、沢山の方から声をかけていただき、『居場所がある』『必要とされている』と、改めて気づくことができました。ここでの仕事は生きがいでした。それがなくなるのは寂しいですが、新たな生活をしてみたいと思っています。登録通訳者として、もう少し通訳活動は続けていきたいと思っています。みなさま、本当にありがとうございました。そして、これからも、岡山県聴覚障害者センターをよろしく願いいたします。



センター開所当時

**新着ビデオ** 字幕入りDVDを入荷しました。ぜひご覧ください。

- 映画「おしりたんてい カレーなる じけん」東映
- 「ろうを生きる難聴を生きる」NHK
  - ◆ ダンスで垣根を越える 前編・後編
  - ◆ 音のないオンガク会
- 「ハートネットTV」NHK
  - ◆ わたしたちのバレーボール ◆ 戦禍のウクライナ ろう者たちのいま ◆ みんなの選挙
- 「浮世絵 EDO-LIFE」NHK
  - ◆ 三代歌川豊国(国貞) 極暑あそび
  - ◆ 歌川芳虎新板子供遊びの内百物がたりのまなび
  - ◆ 歌川国芳 東都三ツ股の図
- 「きょうの健康 豊かな人生の処方せん 延ばそう!健康寿命」NHK
  - ◆ フレイル予防 全国の現場 ◆ 究極の口腔トレーニング ◆ 健康のリスクとなる“孤立”
- 「きょうの健康 豊かな人生の処方せん 超難聴時代に備えよ!」NHK
  - ◆ 明らかになるリスク ◆ コロナ禍が難聴に悪影響!? ◆ 続々登場!難聴補助アイテム
- 「映像'22 鉄路の果て 鉄道150年の向こう」毎日放送



**疲迎のほんなるほど!**

今回のテーマ  
「音声認識アプリ勉強会について」

音声文字にする“音声認識アプリ”の種類が徐々に増えています。そのひとつ「YYProbe(ワイワイプローブ)」を昨年の全聴情協映像制作担当者の研修会で利用しました。認識率が高く、誤字が少ないため便利だったという声が多くあり、その話を県難協会長にしたところ関心を持たれ、勉強会を開催することになりました。講師はアプリの開発会社の方をお願いし、「YYProbe」と「YY文字起こし」についてご説明いただきました。なるほどと思ったのは、工場で働く聴覚障害者が使えるように開発されたため、雑音の中でも声を認識しやすいことです。

質疑応答では、ネットが使えない場合でもアプリが使用できる方法、単語を登録して誤字を減らす方法、聴覚障害者料金プランなどの質問がありました。また、「YY文字起こし」は現在アップル版しかないがアンドロイド版も開発してもらえないのかとの質問に対し、検討中だがタイミングを見て展開していきたいとの回答がありました。参加者からは「アプリを使えば対面での会話がよりスムーズになるので難聴者の便利なツールとして期待したい」との感想がありました。今後も便利なアプリや機器があれば、どんどん紹介していきたいです。

**編集後記**

センター開所以来19年間、何事にも先陣を切ってがんばってきた大岡さんが、無事定年をむかえられたのはよろこばしいことですが、今は大きな柱を失ったような心細さとさみしさでいっぱいです。大岡さんから学んだことは数え切れませんが、最初に浮かぶのは“聞こえない人に寄り添うこと”。判断に迷って相談すると、いつでも一番に聞こえない人のことを考えた上で的確なアドバイスをくれました。他にも、自分の間違いに気づいたとき言い訳をせず潔く自分の非を認め素直に謝るところ。人との壁を作ることなく誰に対してもフラットに接するところ。ろう者・難聴者・聞こえる人関係なく、初めて会う人であっても話題を見つけて話しかけるので県内外を問わず人脈が広いところ。どんなに大変なときでも楽しさを見つけて前向きにとらえるところ。大岡さんとともに仕事をして学んだ数々のことは貴重な財産です。今日まで共に働けたことを心から感謝しています。今後も通訳活動をはじめますますのご活躍を心からお祈りしております。



**開館カレンダー**

- ◆ 開館日 月・水～金曜日 9時～19時  
土・日曜日 9時～17時
- ◆ 閉館日 毎週火曜日、国民の祝日、火曜日が祝日の場合その翌日も休館、年末年始

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	
														30							